

令和元年度 第1回視聴覚センター運営委員会 摘録

日 時 令和元年7月4日(木) 午前10時～11時30分

場 所 京都市生涯学習総合センター 3階 第4研修室

|      |       |    |      |
|------|-------|----|------|
| 出席委員 | 浅井和行  | 委員 |      |
|      | 磯野進司  | 委員 |      |
|      | 上原潤明  | 委員 |      |
|      | 下村貞之  | 委員 |      |
|      | 高橋和美  | 委員 |      |
|      | 中村都茂子 | 委員 |      |
|      | 古池強志  | 委員 | 五十音順 |

|      |       |    |      |
|------|-------|----|------|
| 欠席委員 | 佐藤愛彦  | 委員 |      |
|      | 高橋利華  | 委員 |      |
|      | 豊田まゆみ | 委員 | 五十音順 |

傍 聴 人 なし

1 開会

- (1) 向井所長の挨拶
- (2) 新任委員の紹介
- (3) 摘録署名人に下村貞之委員長を選出

2 議事

- (1) 平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画

「平成30年度視聴覚センター事業報告」及び「令和元年度視聴覚センター事業計画」の説明を行った。

- (2) その他

平安京創生館の企画展(平安貴族と年中行事、めでたき舞)、平安京模型等の広報紙等の配布資料について説明。

陶板壁画「洛中洛外図」について、立命館大学と共同開発した、タブレット解説サービスについて説明。今後、平安京模型にも同様のサービスを

計画していることについて説明。

[委員からの主な質問や意見など] (○は委員, ・は事務局)

- グレンミラー物語は定員 400 名に対し 400 名が入場しているのはとても良い。  
また、朝にアスニー敷地内でラジオ体操を地域の方がされているが、地域の方がいろいろな部分で集われ、生涯学習施設として役割を果たしていると思う。  
DVD のコピーの際にコピーガードはどうしているのか。
  - ・DVD コピー機は個人向けではなく、学校教育における自主制作の量的な支援のために対応しており実態において問題はない。
- 16mm 映写技術講習会への参加者数が少ないようだが、どんな方が参加されているのか。また、最近は簡単に動画が撮れることもあり、高校になるとスマホやタブレットの活用については授業の中でも行っている。教員が授業のために動画を作成することも多い。そういう意味でも撮り方や活用の仕方など、視聴覚センターがモデルになるような取組があるとよい。
  - ・16mm フィルムと映写機の貸出については、地蔵盆で貸し出すことが主である。町内会などで新たに会長になられた方が、地蔵盆前に登録され、講習会を受講していただき、利用いただいていることもある。
- 16mm の特性は、ビデオやデジタル映像に比べ奥が深い。16mm 技術の受講に対するニーズに応えられるのはこの視聴覚センターしかなく、講習会は是非継続してもらいたい。
- 昔はこの視聴覚センターで 16mm のライセンスを取り、技術の習得に努めてきたが、今では小学校の低学年や幼稚園児でもタブレット P C で動画を撮ることができる。教材などクオリティーの高い映像技術の習得を目的とした研修などを考えてもらえればありがたい。
- 16mm 映写技術講習会を始めたきっかけは何か。
  - ・16mm フィルムは 3000 本を超える在庫がある。発足は 30 年以上前で開館時からなので、その時代のニーズに応じたものであったと思う。当初、機器は 30 ～40 台あったが、今は機器の製造は中止されているため、故障した機器の使える部品を組み合わせで使える機種を残して対応している。新たなソフトは出ないが、過去の映像から学んでいくことも多く、継続することが大切と考えている。

○20 数年前に地蔵盆で活用するため 16mm 映写機と映像フィルムを借りたことがある。

視聴覚センターの設立当初から子供たちに映像の素晴らしさを伝えるため、京都ならではの地蔵盆で活用することも考えて設定がされたと思う。

○視聴覚センターは学校教育に対する役割を果たすためにも設立されたもので、学校教育に関するライブラリーの所蔵が増えた。

16mm の映写技術について教員がここで研修を受けて、使い方だけでなく機器のメンテナンスも行っていた。

16mm は暗い部屋で見なければならないため、子どもたちは集中して観ることになり、DVDやビデオなど明るい所で観るものと違い、教育的効果はあったように思う。

○キッズシネマの年間予定をお知らせしている学校教育施設等の約 60 箇所というのはどのように決めているのか。

・アスニーがある中京区を中心とした近辺の小学校等で希望のあった施設に案内を送付している。来年度以降、お声かけを広げていく予定である。

○クールスポット事業であるが、勤務している施設でも夏場はプールを実施しているため水道料金が非常に高くなるほか、室内の温度設定の難しさなど、エネルギー問題には苦慮しており、どのように対応しているのか。

・アスニーの温度設定は、基本的に 28 度の設定はあるが、貸館の実情に応じて柔軟に対応している。また、館内照明についても使用していない部分はこまめに消灯するなど、節電に取り組んでいる。

○アスニーキッズシネマの上映メニューは毎年変えているのか。また、これは低学年向けか。リクエストはできるのか。

・キッズシネマは、就学前児童も鑑賞に来るので、上映時間が短いものが多い。クールスポット事業では上映時間は少し長めで高学年も楽しめる内容にしている。

リクエストについては、所蔵量の実情から希望に添えないこともあり行っていない。

○キッズシネマでは、絵本が映像化されたものが多くありますが、絵本に音や音声が入り観て楽しむことは子供にとって大切なことと考えます。作品を選ばれるに

あたっては、そのようなことを考慮してタイトルを選んでいるのか。

- ・選定では、馴染みの絵本を選ぶようにするなど、テレビで観る機会があっても大きなスクリーンで観ることで楽しんでもらうことができる。

○京都市の視聴覚センターは生涯学習の視点からしっかりと考えていただいているので、今後も続けていっていただきたい。タブレットの話を聞いたが、現代の状況に合った求められたものになっていると感じた。

時代に合った視聴覚センターを考えていただければよいと思う。

○京都の視聴覚センターなので、京都の地域の祭りや行事などの歴史や文化を継承して、メディアの部分でも大切に育てていただきたい。

- ・16mm フィルムなどのセンターのストックが劣化しないように、保存・管理するための体制も整えていきたい。

○自分の住む地域では夏祭りと運動会を行ってきたが、少子高齢化で参加者が減り、一体化して地域あげてのお祭りとする事となった。そこに16mmの映写機を持ち込むと、お年寄りには懐かしく、子どもたちには新鮮に感じて、互いの触れ合いになるのではないかなと思う。

○クールスポット事業では、夏休みには児童館に子どもたちが増える。児童館の子どもたちにもっとアスニーに来てもらうことができればとも思うし、児童館に16mmの映写機を持ち込んでいただくと子どもたちは喜ぶのでは。

- ・近隣の児童館には声掛けをしているが、引続き発信していく。

○視聴覚センターの役割はまだ終わっていないと思う。

最近では子供の居場所はあるが、お年寄りの居場所が必要となる時代が来ている。そういう役割もセンターが担う必要がある。当初は、子どもにとってのセンターであったが、生涯学習センターとして、居場所の意味合いが大きいと感じる。安心して楽しめる場所が重要となってくる。

小さい子供を連れた親のニーズがあるので、これからは今まで以上に役割がある。16mmなどのメディア関係のPRの方法についても大切であるので、しっかり取り組んで欲しい。

### 3 閉会